

積極的な中途採用の広がり

2006(平成18)年の診療報酬改定で、急性期入院医療の看護体制を評価するため、入院基本料に「7対1」区分が導入されました。これがターニングポイントとなり、医療施設等の看護師不足感が大きくそして急速に広がりました。

それ以前、看護師が転職する際には、年齢制限の壁や交代勤務が可能かどうかという点で、まずは新卒看護師の採用が第一で、その採用状況次第で中途採用看護師にまで枠が拡大されるのが一般的でした。しかし現在は、新卒看護師と同様、中途採用看護師の求人も積極的になされており、雇用形態の多様化についても各地で導入への検討が進んでいます。

中途採用看護師のなかには、モチベーションを維持しあるいはさらに高めたいと考えて施設を移動する人や、子育てなどで離職した後に復職する人などがいて、それぞれの背景も多様です。病院側がこうした状況を理解した上で受け入れ体制を整備しなければ、新卒看護師にとっては万全な受け入れ準備であっても、中途採用看護師には十分とはいえないかもしれません。

すべての看護師が働き続けたいと思う環境に

本書は、中途採用看護師を病院に受け入れる場合の体制整備の方策を丁寧に解説しています。中途採用看護師のこれまでの勤務経験や培った看護観を尊重し、「中途採用看護師のもつ基本的資質や能力を評価し個性を発揮できるよう支援す

るためのポイント」として、指導に必要な基本機能を、ガイドとしての機能、ケア提供者としての機能、コーチングの機能、ティーチングの機能、スポンサーとしての機能の5つに整理して、それぞれの内容を具体的に述べています。

また、中途採用看護師だからできる「客観的評価」の視点を尊重し、新しい考えややり方を受け入れる寛容をもち多様性を許容できる施設や部署こそが、自らを進化させていくことにつながるともいえます。管理者や教育担当者だけが受け入れ体制の整備に関わるのではなく、受け入れる側の看護師全員が方針に納得して意思決定できるまでしっかりと支援することが必要です。それにより、看護師自らが主体的に受け入れに関わり協力してもらえる土壌をつくることができます。

即戦力として短期目標を達成するために受け入れるのではなく、ともに働く仲間を確実に得るという長期的目標をめざすことこそ、中途採用看護師を活かし、定着させ、結果としてすべての看護職にとって働き続けたいと思える環境に近づけるのだといえます。

本書には、看護師の生涯教育に情熱を注ぎ、フットワークよくさまざまな現場の声に耳を傾け、状況をつぶさに知っている著者たちだから書けた知恵が集約されています。看護師確保と定着は医療現場では最重要課題であり、今後も格闘が続きますが、本書は医療施設に限らず、広い分野で中途採用看護師をいかに！伸ばす！育てる！ための手引きとして活用していただきたい一冊です。



中途採用看護師をいかに！伸ばす！育てる！

渋谷美香、北浦暁子
定価 2310 円
(本体 2200 円 + 税 5 %)
医学書院
TEL. 03-3817-5657

中途採用看護師の受け入れ体制整備の方策を丁寧に解説

洪 愛子 日本看護協会認定部部长

評
BOOK